

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【公開番号】特開2008-273860(P2008-273860A)

【公開日】平成20年11月13日 (2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2007-117790(P2007-117790)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/75 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/97 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 2 3 K 1/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 K

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 8/97

A 2 3 L 1/30 B

A 2 3 K 1/16 3 0 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月9日 (2010.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

柚子果皮から調製された疎水性画分を有効成分とする、N F - B 亢進および T h 2 亢進の少なくとも一方の亢進を抑制するために用いられる、N F - B / T h 2 亢進抑制剤。

【請求項 2】

食品添加剤として用いる、請求項 1 に記載する N F - B / T h 2 亢進抑制剤。

【請求項 3】

下記の工程を有する、N F - B 亢進および T h 2 亢進の少なくとも一方の亢進を抑制するために用いられる N F - B / T h 2 亢進抑制剤の有効成分を調製する方法：

- (1) 柚子果皮を低級アルコールまたは含水低級アルコールで抽出し、溶媒を留去する、
- (2) 溶媒留去した柚子果皮抽出物を低級アルコールに溶解し、これをアセトニトリルに懸濁したシリカゲルと混合した後、溶媒を留去する、
- (3) 溶媒留去したシリカゲルを、アセトニトリルを移動相とする順相シリカゲルカラムクロマトグラフィーに供する、
- (4) アセトニトリルを通液して溶出し R f 値が 1 である画分を、N F - B 亢進抑制剤の有効成分として回収する。